

# 初教 WARBABU

# かわらばん

第20号  
2018.7.25

広島文教女子大学  
教育学会 発行



学科長職に戻りました  
ふたたびのご挨拶

会長・学科長  
岡 利道

皆様お変わりなく、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。教育学会会長の岡です。

わたくしこと、前年度までの5年間は、副学長職となったため、学科長職を離れていました。が、この3月で前学長・高橋泰道先生が退任されたこともあり、6年ぶりに学科長職も兼務するようにとの学長の命を受け、4月より務めております。もちろん、どちらの職もたいへんですので、どうすれば両方に最大の力を注げるか、模索し続けている毎日です。



どうせ忙しい...それならばと、今年度は、附属高等学校に「1年E組」も教育クラスができましたので、同クラスと初等教育学科とが連携していく新たな業務にも着手しました。おりしも、本稿を執筆している今日(6月10日)、附属高等学校の第62回文教祭のステージ発表で同クラスの17名の精鋭が、朗読『スミイ』を披露するので、見に行ってきたところです。分読・群読、あわせてパフォーマンスもあり、大いに工夫した発表でした。今年の遅くないうちに、連携した行事や授業、その他、共に手を携えることを開始します。ご期待ください。

そして、本年度の初等教育学科1年生は、143名の前途有望な新入生です。米えある38期生であります。ところで、次年度より本学は共学化し、初等教育学科は現在の人間科学部から独立して教育学部・教育学科となりますので、38期生が広島文教女子大学・人間科学部(旧文学部)・初等教育学科最終期生となります。ですから、私たち教員は、万感のもと38期生の指導も精一杯励む所存です。

会員の皆様、旧職員の皆様、関係の皆様、今後とも変わりがせず、ご声援、叱咤激励のほど、何卒よろしくお願いいたします。是非またお話ししたく存じます。



## 活躍している学生の紹介

### 自主サークル「はぐくみ」インタビュー第2弾!!

～10年後の教育を考えて～

Q上映会・講演会をしようと思った理由を教えてください。  
「みんなの学校」を通して「教育は子ども・教師・保護者だけのものではない」ことを学年・学科問わず共有したいと思ったからです。

- Q上映会・講演会を終えて、これからどうしていきたいですか?
- (寺川)：講演会を聞いて、障がいや長所に変えることが教員の専門性であると知りました。これからは、障がいの特徴についてさらに学んでいきたいです。
  - (寺本)：いろいろな考えを持つ先生や学生と話すことで視野が広がりました。この経験を活かして、子どもとのふれあいを続けていきたいです。
  - (三浦)：子どもとの関わり方を知って、さらに子どもたちの考えなどを知るため、関わる機会を増やしたいです。
  - (山廣)：同じ映画を見ても、職業や立場によって視点が異なることが分かりました。今後は学校関係者以外の方とも関わってみたいです。



35期生(4年生)：本畝瑞歩、田邊日向子、福田聡子、峰谷日菜子、森望美、山本祐理  
37期生(2年生)：寺川夏海、寺本佳古、三浦桃子、山廣千晶

活動：広島平和式典への参加、フィールドワークの実施、大阪市立大空小学校・大阪市立三陸中学校の訪問、育心でのワークショップ実施など

☆平成30年3月10日に  
広島文教女子大学で  
「みんなの学校」の  
上映会・講演会を行いました。



## 海を越えて教育を学べ!

### JENESYSを直撃インタビュー!

3月にマレーシアに派遣された6名(初等教育学科4年：大山佳乃、田邊日向子、峰谷日菜子、和田夏海、グローバルコミュニケーション学科4年：上野奈津美、堀田初音)の中から大山さんと田邊さんにインタビューをしました!

#### ○JENESYSの目的とは?

将来を担う人材を招へい・派遣し、対日理解の促進、親日派・知日派の発掘、我が国の外交基盤の拡充を目指します。日本の魅力等を積極的に発信することで、国際社会における対日イメージ向上や日本への持続的な関心の増進に寄与します。

#### ○日本との教育の違いについて教えてください!

日本では、ユニバーサルデザインの視点から、黒板周りをスッキリさせるよう取り組みが進んでいますが、マレーシアでは、どの学級が教室を一番華やかに装飾できるか競う取り組みがなされています。これは、学級ごとのカラーがみられ、仲間意識・人間関係を良好なものにする効果があります。どちらの教育が良いのかは...?

また、専門性を高めるために、中・高の世代でも専門分野に分かれています。(普通科・メイクアップ・ウエディング・クッキング・タトゥー等)  
日本と違うところがたくさんありますね。

#### ○学んだことはなんですか?

田邊→挑戦して、世界が開かれました。興味があふれることに踏み込むと、新たな出会いがあり、チャンスをつかむことが出来ることを学びました。

大山→他の大学と教育等様々なことについて語り合うことで、視野が広がりました。日本に住んでいたら日本が一番に見えるけれど、マレーシアに行ってみると、他国の良さや違いに気づくことができました。

インタビュー：榎・瀬戸・益田・水口



## 国境をこえて平和学習について考える

初等教育学科児童教育コース音楽専修4年生・石本暁子さんに、インタビューを行いました。石本さんは、積極的に平和学習を実践しています。

#### Q 平和学習について教えてください。

A 平成29年8月に行われた青少年国際未来平和会議2017ヒソシマ(IYCPF)に参加しました。日本を含む10か国13都市から来た同世代の人(高校生～大学生)と「30年後の世界をより良いものにするための私たちの使命とは?」というテーマで会議を行いました。広島で11日間開催され、初めの8日間は、広島の有名なところを観光案内したり、宮島で紅葉饅頭を作ったり、広島の名産物を買ったりするなど、自ら通訳をし、海外の人に日本や日本の文化について知ってもらう企画などで仲を深めました。ディベート自体は残りの3日間で行われました。11日間のプログラムの中には、平和首長会議も組み込まれていたため、海外からの参加者から自国の平和学習について教えてもらい、何か国もの平和学習を知ることができました。

#### Q 今回の平和学習で何を学び、何を思いましたか。

A 日本は被爆国であるため、被害者目線の学習が多いです。しかし、海外の人と一緒に平和について学んでいくにつれて、日本人だけの目線だけでなく、さまざまな国の人の目線も知ることができました。また今回の平和学習を通して、どの国の人も世界が平和になってほしいと願っていることや、それに向けて動きたいと思っている人がたくさんいるということが分かりました。

#### Q 平和学習を始めようと思ったきっかけは?

A 今回参加させていただいたIYCPFを通してきっかけ

を作ってもらったということが1つの理由ですが、将来広島県で教員になるなら平和についてもっと知っておくべきだと思いから参加しました。私も広島県出身で小学校・中学校で平和について学習してきたため、事実だけ知っている状態でしたが、実際に自分が経験したことは教員を目指す上で強みになり、あわせて発信していく力をつけることができると感じたからです。

#### Q 平和学習についてどのくらいの期間学びましたか。

A 3年次の平成29年5月から、平和関連の専門機関の方や他大学の教授からレクチャーを受け、8月の会議に参加しました。また学校でも、グローバルコミュニケーション学科の先生方に協力してもらいながら、英語で平和学習をする場を作りました。

#### Q 平和について学んだことを今後どのように生かしていきたいですか。

A 今回学び得たことに加え、海外では戦争の事実をどのように伝えているのか、日本との視点に差がないか、平和教育のプログラムはどのようなものであるかを今後調べていきたいです。それを、将来教員になったときに子どもたちに生の声を伝え、「平和についてもっと学びたい!」という子どもを育てたいと考えています。

#### Q 石本さんにとって「平和」とは何ですか。

A 今の世界の現状の最終ゴールだと思います。一人では実現できないもので、みんなが関わっていないと実現できないものだと思改めて感じました。平和とは、途絶えさせてはいけないもので、伝え続けなくてはならないと思ったため、今回得たものを広げていかなければならないと思っています。

#### Q 子どもたちに平和学習をさせるにあたり、学校や教員は何をすべきだと考えますか。

A 受け身ではなく、自分から興味を持って学んでいかなければ身にならないと思うので、子どもたちにいかに平和について関心を持ち興味を引き出していくこと

が、教員にとって大事なことでないかと思いません。だからこそ、まずは教員が興味・関心を持って平和教育について取り組むべきではないでしょうか。8月6日付近だけでなく、年間を通して平和に関わるプログラムがあってもいいと思います。

#### ～下級生に向けてのメッセージ～

私は英語に興味があって今回のIYCPFに参加して、平和学習に取り組むことができました。何が何につながるかわからないので、とりあえず何でもやってみることが大事だと考えます。自分からやってみようと思ってやってみることが一番身に付き、思い出にも残ると思います。教員になりたいという人が初教には多いので、何か自分の強みになるものがあると教員になったときも役に立つことが多いと思います。いろいろと行ってみたい、何か自分で興味があることを見つけて深めていくと良いと考えます。

